

並行宇宙

羽毛のある 16 羽の樂園の像は事実と虚構の本質についての疑問を投げかけます。ライアン・ガンダー氏は、同封の文学作品を通して、実在のモーリス・エガートン、第四男爵エガートン(1874~1958 年)を巻き込んだ架空の複雑な物語を語ります。

物語では、熱心な探検家エガートンがニューギニア遠征から帰ってきて、珍しい樂園の鳥を発見したと発表します。彼はその発見をイギリス女王に披露し、新聞はそれを大々的に報道しました。

ガンダー氏は、この男爵に関する作り話を通して、事実と虚構の間のしばしば曖昧な線、そして完全に真実であることが常に必要かどうかを考えています。